

医療法人 和同会 防府リハビリテーション病院

リハビリテーション科 学会内容/学術発表⑥

6. 学会名 ; 2019 年度 一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会

主催 第 49 回 PTOTST 研修会

【開催地】 TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前

【日時】 2019 年 11 月 30 日～12 月 1 日

当院から PT・OT・ST の各職種にて参加して参りました。回復期リハビリテーション病棟での PT・OT・ST の質の向上や診療報酬上の動向について基調講演を含めて多く学ぶことができました。

日々の臨床において、様々な選択ができる医療が増加している中、各々の適応を考えながら十分な評価・検証を行い質の高いリハビリテーション医療の提供を行っていきたくと考えます。テーマの『継往開来』のように先人からの受け継ぎを発展させながら未来を切り開けるよう実践に活かしていきたいと思えます。各シンポジウムにおいては、各方面の著明な先生方々からの経験談も交えられ、今後の回復期リハビリテーションを提供するための取り組み方や重要なポイントを御紹介頂き、非常に参考になりました。その中、日々の業務における課題への「チームアプローチ」をどのように実践し、患者様とその御家族を支援へ繋げていくと良いかに関して当院にても今後当院にて取り入れて参りたい内容でした。本研修会への参加者数は、99 名で 38 病院から参加が行なわれていました。2 日間に渡り参加者から多くの質問もみられ、各病院スタッフとの交流の場も設けられていたため様々な場面で学ぶ機会が得られました。今後の日々の業務に対しても大変参考となる学会でした。

【基調講演】『今、PT・OT・ST に伝えたいこと』

西広島リハビリテーション病院

理事長・院長 岡本 隆嗣先生

2019 年度

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 主催

第 49 回

PTOTST 研修会

【シンポジウム】『回復期リハ病棟 先駆者セラピストからの提言』

「回復期リハ病棟黎明期のトライアル チームアプローチの実現のために」

栗原整形外科リハビリテーションセンター 副センター長

理学療法士 伊藤 隆夫先生

「ADL から生活 チームアプローチと専門性」

九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 教授

作業療法士 淵 雅子先生

「在宅復帰後とのコミュニケーションを考える」

広島国際大学 総合リハビリテーション学部 教授

言語聴覚士 沖田 啓子先生